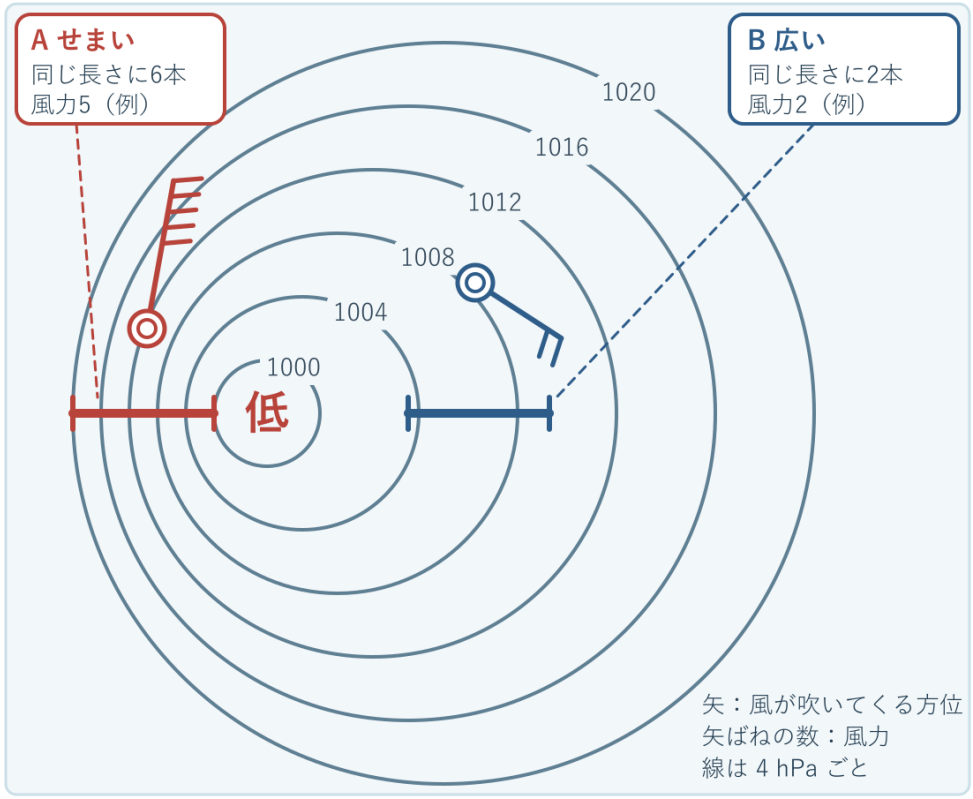
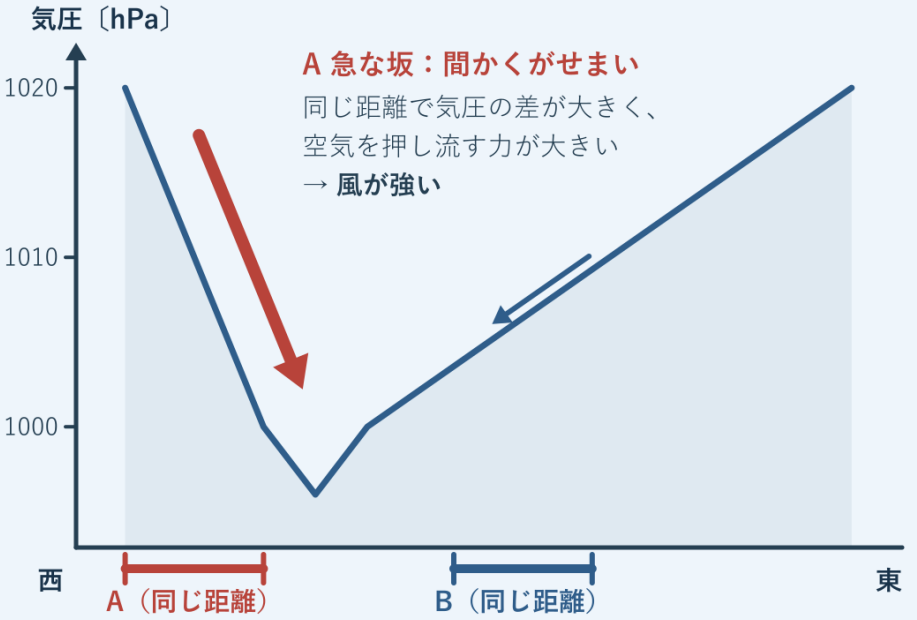
等圧線の間かくで風の強さを読む

天気図の等圧線の間かくから、風の強さをどう読み取るのだろう

模式の天気図：等圧線の間かくを見る（北が上）



左の図の東西の線で切ると：気圧の「坂」



坂はたとえで、
地面の坂ではない。

B ゆるい坂：間かくが広い

同じ距離で気圧の差が小さく、
押し流す力が小さい → 風が弱い



台風の中心付近

等圧線がとても混み合う（間かくがせまい）。
だから、風が非常に強くなる。

読み方

1. 同じ長さの区間で、等圧線の本数を数える。
2. 本数が多い所ほど、間かくがせまく気圧の差が大きい。
3. **そこでは風が強いと読む。**

※ 天気図は模式で、実際の天気図と違う。風力と気圧の値は例。風の強さは地形などでも変わる。